

1. 全学部統一型 試験日：2月2日(日)

2教科、若しくは3教科について本学での試験を受験します。3教科を受験した場合は、高得点の2教科を合否判定に使用します。国際教養学科経済経営学専攻及びグローバルスタディーズ専攻は外国語の受験が必須です。また、国際教養学科経済経営学専攻のみ数学基礎も必須であり、3教科若しくは4教科を受験します。

学部	学科・専攻	募集人員	教科	試験科目		時限	試験時間	配点	満点
経済	経済学科	18	外国語	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ		1時限	60分		
	経営学科	18							
	金融学科	13							
人文	英語英米文化学科	13	選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、 数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B「数列」、数学C「ベクトル」)		2時限	60分	各100点	200点
	ヨーロッパ文化学科	13							
	日本・東アジア文化学科	13	国語	現代の国語、言語文化 (漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。		3時限	60分		
社会	社会学科	14							
	メディア社会学科	12							
国際教養	国際教養学科 経済経営学専攻 ※注 1	5	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ		1時限	60分	100点	300点
			選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、 数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	各100点		
			国語	現代の国語、言語文化 (漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分			
			数学基礎	※数学基礎出題範囲 数学Ⅰ(数と式、二次関数、データの分析)、 数学A(場合の数と確率、数学と人間の活動)、 数学Ⅱ(いろいろな式、図形と方程式、 指数関数・対数関数、微分・積分の考え)、 数学B(数列、統計的な推測) ※選択科目で数学を受験した場合でも 数学基礎は必須。 ※2025年度入試においては、旧教育課程履修者に 配慮し、統計的な推測からは出題しません。	4時限	60分	100点 ※数学基礎の得点が基準点に満たない場合は、 不合格とすることがあります。		
	国際教養学科 グローバル スタディーズ専攻	5	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ		1時限	60分	150点	250点
			選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、 数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	各100点		
			国語	現代の国語、言語文化 (漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分			

- ◎受験教科は出願時に届け出る必要はありません。
- ◎選択科目は、試験場で任意に選択することができます。
- ◎国語については三つの大問が出題されます。
第一問(現代文)は必須問題ですので全員が解答します。
第二問(現代文)と第三問(古文)は選択問題で、どちらかを解答します。
第二問と第三問を両方解答した場合は高得点の解答を合否判定に使用します。
- ◎全学部統一グローバル型との併願はできません。

※注1 国際教養学部 国際教養学科 経済経営学専攻はカリキュラム・ポリシーとして、「ロンドン大学と本学とのパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)を設置し、世界水準の学部教育を施す」ことを定めています。

2. 全学部統一グローバル型（英語外部検定試験利用型） 試験日：2月2日（日）

本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）のスコア※1を、本学が定めた基準により得点化します。さらに、外国語以外の本学で実施する試験※2※3を受験し、得点化した英語資格・検定試験の得点との合計点を合否判定に使用します。

※1 本学が定める有効期限内に、指定する英語資格・検定試験を受検していれば出願可能です。ただし、実用英語技能検定のみ準2級以上のスコアが必要です。

※2 「選択」又は「国語」から1教科を選択し受験します。「選択」及び「国語」の2教科とも受験することもできます。その場合は、高得点の教科を合否判定に使用します。

※3 国際教養学科経済経営学専攻は「数学基礎」も受験する必要があります。

【本学が指定する英語資格・検定試験と本学換算（以下は一例で、スコアごとに得点換算します）】

以下のいずれかの英語資格・検定試験を受検していること（ただし、2023年2月以降に受検したものに限り）。

英語資格・検定試験の名称	英語資格・検定試験のスコア					備考
ケンブリッジ英語検定	167	160	154	147	140	Linguaskillの場合、公開受検のスコアを有効とします（自宅受検のスコアは利用できません）。
実用英語技能検定CSE	2400	2300	2184	2067	1950	受検した級に合格していない場合でも出願可能。ただし、準2級以上に限る。英検S-CBT、英検S-Interview可。
GTEC	1237	1180	1097	1014	930	オフィシャルスコアに限る。検定版、CBTタイプが利用可能。
IELTS	6.0	5.5	5.0	4.5	4.0	アカデミック・モジュールに限る。IELTSコンピュータ版可。
TEAP	331	309	281	253	225	
TEAP CBT	665	600	540	480	420	
TOEFL iBT®	80	72	62	52	42	団体受験のスコア及びTOEFL iBT® Home Editionは不可。Test Dateスコアのみ利用可能。My Best™スコアは利用できない。
TOEIC® L&R/S&W	1655	1560	1425	1290	1150	IPテストのスコアは利用できない。TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にし、TOEIC® L&Rと合算したスコアとする。
本学の得点率	95%	90%	85%	80%	75%	

※いずれの試験においても4技能合計のスコアです。スコアに応じて、本学が定めた換算表に基づき得点化します。

※いずれの試験においても異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組み合わせを認めます。この場合、二次試験を2023年2月以降に受験し、取得したスコアを有効とします。

【グローバル教育の事前確約について】

学部	学科	確約条件
社会	社会学科 メディア社会学科	合格者には「グローバル・データサイエンスコース（GDS）」に所属する許可があらかじめ与えられます（所定の時期に希望届及び志望理由書を提出することが必要です）。

【試験教科・科目】

学部	学科・専攻	募集人員	教科	試験科目		時限	試験時間	配点	満点
経済	経済学科	2	外国語	本学が指定する英語資格・検定試験(4技能)のスコアを、本学が定めた基準により得点化します。				150点	250点
	経営学科	2							
	金融学科	2							
人文	英語英米文化学科	4	選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	※選択・国語の2教科から1教科を選択。	2時限★	60分	各100点	
	ヨーロッパ文化学科	4							
	日本・東アジア文化学科	4							
社会	社会学科	3	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	※2教科を受験することもできます。その場合、高得点の教科を合否判定に使用します。	3時限★	60分		
	メディア社会学科	3							
国際教養	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	5							

学部	学科・専攻	募集人員	教科	試験科目		時限	試験時間	配点	満点
国際 教養	国際教養学科 経済経営学 専攻 ※注 1	5	外国語	本学が指定する英語資格・検定試験(4技能)のスコアを、本学が定めた基準により得点化します。				150点	350点
			選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、 数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	※選択・国語の2教科から 1教科を選択。	2時限★	60分	各100点	
			国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可 能です。	※2教科を受験することも できます。その場合、高得 点の教科を合否判定に 使用します。	3時限★	60分		
			数学 基礎	※数学基礎出題範囲 数学Ⅰ(数と式、二次関数、データの分析)、数学A(場合の 数と確率、数学と人間の活動)、数学Ⅱ(いろいろな式、 図形と方程式、指数関数・対数関数、微分・積分の考え)、 数学B(数列、統計的な推測) ※選択科目で数学を受験した場合でも数学基礎は必須。 ※2025年度入試においては、旧教育課程履修者に配慮し、統計的な 推測からは出題しません。			4時限★	60分	

○受験教科は出願時に届け出る必要はありません。

○選択科目は、試験場で任意に選択することができます。

○国語については三つの大問が出題されます。

第一問(現代文)は必須問題ですので全員が解答します。

第二問(現代文)と第三問(古文)は選択問題で、どちらかを解答します。

第二問と第三問を両方解答した場合は高得点の解答を合否判定に使用します。

○全学部統一型との併願はできません。

★全学部統一グローバル型の受験者は、2時限以降に受験します(同日の1時限に全学部統一型の外国語試験が行われるため)。

※注1 国際教養学部 国際教養学科 経済経営学専攻はカリキュラム・ポリシーとして、「ロンドン大学と本学とのパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)を設置し、世界水準の学部教育を施す」ことを定めています。

3. 個別学部併願型 試験日：2月4日(火)／2月7日(金)

3教科すべてについて本学での試験を受験します(国際教養学科経済経営学専攻のみ注3を参照)。

学部	学科・専攻	募集人員	試験日	教科	試験科目	時限	試験時間	配点	満点
経済	経済学科	40	2月7日(金)	外国語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	1時限	60分	200点	500点
	経営学科	40	2月4日(火)	選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学I、数学II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	150点	
	金融学科	25	2月4日(火)	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分	150点	
人文	英語英米文化学科	31	2月4日(火)	外国語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	1時限	60分	200点	500点
				選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学I、数学II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	150点	
				国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分	150点	
	ヨーロッパ文化学科	30	2月7日(金)	外国語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	1時限	60分	100点	300点
				選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学I、数学II、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	100点	
				国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分	100点	
	日本・東アジア文化学科	30	2月7日(金)	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分	100点	

学部	学科・専攻	募集人員	試験日	教科	試験科目	時限	試験時間	配点	満点	
社会 ※注1	社会学科	43	2月7日(金)	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	1時限	60分	200点	500点	
	メディア 社会学科	36	2月4日(火)	選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	150点		
				国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。	3時限	60分	150点		
国際 教養 ※注2	国際教養学科 経済経営学 専攻 2月4日 【数学重視型】 ※注3	10	2月4日(火)	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	1時限	60分	200点	400点	
				選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	※選択・国語の2教科から1教科を選択。 ※2教科を受験することもできます。その場合、高得点の教科を合否判定に使用します。	2時限	60分		各100点
				国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。		3時限	60分		
				数学基礎	※数学基礎出題範囲 数学Ⅰ(数と式、二次関数、データの分析)、数学A(場合の数と確率、数学と人間の活動)、数学Ⅱ(いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、微分・積分の考え)、数学B(数列、統計的な推測) ※選択科目で数学を受験した場合でも数学基礎は必須。 ※2025年度入試においては、旧教育課程履修者に配慮し、統計的な推測からは出題しません。	4時限	60分	100点 ※数学基礎の得点が基準点に満たない場合は、不合格とすることがあります。		
	国際教養学科 経済経営学 専攻 2月7日 【語学重視型】 ※注3 NEW	10	2月7日(金)	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	1時限	60分	200点	400点	
				選択	世界史探究、日本史探究、政治・経済、数学の4科目から1科目を選択 ※数学出題範囲(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」)	2時限	60分	100点		
				グローバル スタディーズ 専攻 【2月4日】 【2月7日】	5	2月7日(金)	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く) ※古文は選択問題。 ※古文を選択せずに、現代文だけでも受験可能です。		3時限

◎選択科目は試験場で任意に選択することができます。

◎国語については三つの大問が出題されます。

第一問(現代文)は必須問題ですので全員が解答します。

第二問(現代文)と第三問(古文)は選択問題で、どちらかを解答します。

第二問と第三問を両方解答した場合は高得点の解答を合否判定に使用します。

※注1 社会学部を受験した者の中で、数学を選択して受験し、数学と英語の得点が一定以上で合格した者のうち希望者には、グローバル・データサイエンスコース(GDS)に所属する許可があらかじめ与えられます(所定の時期に希望届及び志望理由書を提出することが必要です)。

※注2 国際教養学部 国際教養学科のうち、経済経営学専攻はカリキュラム・ポリシーとして、「ロンドン大学と本学とのパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)を設置し、世界水準の学部教育を施す」ことを定めています。

※注3 国際教養学部 国際教養学科 経済経営学専攻のみ、2つの型があります。

2月4日【数学重視型】 「外国語」「数学基礎」が必須です。加えて「選択」又は「国語」から1教科を選択し受験します。「選択」及び「国語」の2教科を受験することもできます。その場合は、高得点の教科を合否判定に使用します。ただし、他学科他専攻を併願する場合は、他学科他専攻で「外国語」「選択」「国語」の3教科を受験する必要があるため、他学科他専攻を併願する場合は、「外国語」「選択」「国語」「数学基礎」の4教科受験となりますので注意してください。

2月7日【語学重視型】 「外国語」「選択」「国語」の3教科を受験します。

2月4日【数学重視型】と2月7日【語学重視型】の併願は可能です。